

## 喜んでもらえるのは、楽しんでいるから

### おもてなし 事例



おもてなしの現場  
ネイチャーガイド  
白石 浩隆さん

「ガイドをする上で心掛けていることは何でしょう。」  
白石 ネイチャーガイドと言っても、自分だけがちの環境教育をするつもりはないんですよ。環境のサービスマンに携わっていると考えています。みなさんがまったく知らないものや、頭では知っているつもりでも、行ったことがない、見たことがない自然を実際に体験してもらい、感心したり楽しんでもらうことを仕事としています。ただ相手が自然なので、自然を守るルールはしっかりと伝えていこうと思っています。

「教えるのではなく、楽しさを伝えるようなものでしょうか。」  
白石 自分は富士山が好きで、毎日見ていると飽きないんです。そこに人を連れて歩けるというのが楽しいですね。みんなで登って、楽しんでもらうことが楽しい。自分が好きだという気持ちがあるから、お客さんにも楽しんでもらえるのかなという気がします。

「まず本人が楽しむことが重要なんですね。」  
白石 自分たちが楽しみななら、他の人にも楽しんでもらいたいというところが原点にあるんですね。気持ちは伝染するものだと思いますから、自分が心の底から楽しめない、よそから来た方には伝わらないと思います。でも自分が楽しんで

**Profile**  
白石 浩隆(しらいし ひろたか)  
富士河口湖町公認ネイチャーガイド。都留文科大学在学中に野生動物の魅力にひかれ、現在は富士北麓を中心に自然体験を提供している「ひめねずみ社」代表。日本哺乳類学会会員、富士山案内人組合員(富士吉田市)。  
ひめねずみ社・電話0555-73-1512。



## さまざまな世代と接することの楽しさ

### おもてなし 事例



おもてなしの現場  
ボランティアガイド  
「甲府城御案内仕隊」

「ボランティアガイドになっただけは何か楽しさを感じたか。」  
加藤 もともと歴史に興味がありまして。生涯学習の講座などでは教わるだけじゃないですか。だから教わるだけではなく、人の役に立てられればなど、楽しんで参加しているんですよ。

「案内をされるときに気を遣っていることはありますか?」  
竹田 時間のないお客さんからは、10分くらいで説明してくださいと言われていたんですけど、でも、説明しているうちにいついつ時間が長くなってしまいました。

**Profile**  
甲府城御案内仕隊(こうふじょうごあんないつかまつりたい)  
舞鶴城公園内にある甲府城の史跡をボランティアにより無料で御案内するグループ。現在20代から70代までの74人の隊員で組織されている。甲府城御案内仕隊についてのお問い合わせは、県観光物産連盟(電話055-231-2722)へ。

「でも甲府の歴史をたずねられる機会が多いので、なるべく正しく伝えなければいけない、正しいことを伝えたいと思います。」  
加藤 その辺りは反応を見ながら説明するようにしています。もっと詳しく聞きたいようなら細かなところまで説明しますし、退屈しているようならさっと切り上げ、次に移ったり、相手の興味を探りつつ案内していますね。

「観光の現場で人と接することの楽しさについて語ってもらいました。」

